

水辺だより



新潟の水辺を考える会 '92.12

・総会が開かれました

12月5日新潟市中央公民館にて5時半から集まってくれたみなさんはおよそ30名でした。この総会では'92年を振り返って、会計報告(資料①)をし、さらに来年度の活動計画を考えました。来られなかった皆さんには当日の資料を同封しました。

'92年度の主な行事であった水郷水都会議も盛会のうちに終えることができ、新しい会員さんも増えた、よい1年でした。水郷水都の会計報告もこの日同時に行われましたが、500万円台の大きなお金が動いた割には、赤字を出すことなくとかやりくりできたようです(資料②)。会員の皆さんのご協力のおかげです。

当初、水辺の会から水郷水都会議実行委員会へ30万円の貸し付けという予定でしたが、協賛金ということで支出することにしました。水郷水都会議で残った資料とTシャツを水辺の会で売りさばいて現金に換え、水辺の会の収入に繰り入れていく予定です。

現在も事務局にて販売中!あの資料をあなたにお歳暮代りに、あのTシャツをXmasプレゼントに、いかがですか?

・水辺の会は6年目を迎えました

来年の活動予定は資料③のように考えています。

来年の目玉は8月に第9回自然環境復元シンポジウムを自然環境復元研究会と新潟の水辺の会の主催で行おうということです(資料④)。

その他、今年は滞りがちだった水辺ウォッチングをできるだけ実行しようという意見が総会で強くでました。

また『新潟の水辺100選』を楽しんでみようという新しい試みも提案されました。それは1年でできる活動ではないと思われるので1年目は20選でもいいし、例えばカヌーイストから見た100選とか釣師から見た100選とか、いろんな視点からみた水辺を再発見してみようというものです。まだ事務局内部でも検討中ですが、会員の皆さんが中心になって、ぜひやってみたい企画です。

・会費納入のお知らせ

水辺の会の年度は12月から新年度('93年度)となります。そこで会員の皆さんに年会費納入のお願いをいたします。個人会員2,000円、法人会員10,000円です。

事務局に直接持込んでもよいですが、遠くの方は同封の郵便振替を御利用ください。(手数料なし)

新潟の水辺を考える会

〒950-21 新潟市大学南1丁目7821-5
電話 (025) 263-2733

〜〜〜会員情報〜〜〜

①小船井秀一さんから（環境生活クラブ）が環境シンポジウムを計画中です。来年5月2日(日)に「野生との対話」といったようなテーマでツキノワグマをとりまく問題を糸口に、自分たち人間が自然とどうつきあうべきか一緒に考えていこうというシンポらしいです。

環境生活クラブっていうのは環境問題を素人の立場で考えようとしており、水辺の会とよく似てるなと思います。

また開催が近くなれば、水辺の会から情報発信すると思いますが、ぜひ皆さんもこのイベントづくりに参加してください。

②白根の高橋裕雄さんが小魯鬼窯陶房を開きました。

高橋さんは陶芸家であり、水郷水都会議では石井式浄化槽づくりについて話されました。ヤクルトの空き容器を集め底を切開く作業に随分苦労されたそうです。今回オープンした白根の陶房にはもちろんこの浄化槽が取り付けられています。浄化槽にも一見の価値有りですが、阿賀川の堆積層、庵地粘土を使用した自然の息吹を感じさせる焼物も価値有りです。近くにお越しの際はぜひお寄りくださいとのことです。

白根市大通1-8-23 ☎025-379-2794

③南アフリカのヴォイス・パフォーマー、ムズワキ・ムプーリのコンサートに行こう！

小川弘幸さんが独立して文化現場を起こしてから、はじめての海外アーティストの招来です。ムズワキは南アフリカの人々の叫びを訴え続ける詩人で、民族開放運動に沸く南アの民衆の圧倒的的支持を受けながら世界各国のツアーを続けています。日本で公演は東京、大阪、名古屋の他、いわゆる地方公演は新潟のみです。新潟で彼と彼のバンド、イコールズにあえることはすばらしいことだと思います。成功すれば新潟の文化が成熟したと評価されるような気がするのですが、実のところ観客動員の見込みが危ういのです。みんなでアフリカ大陸のリズムに酔いしれよう。

12月17日(木)PM6:00～開演 新潟県民会館小ホールにて

前売料金¥4,200 (当日+300円)



〔小魯鬼窯陶房への行き方〕



MZWAKHE
ムズワキ
Mzwakhe & The Equus
Unbroken Spirit Japan Tour